

# CUCM のネイティブ緊急コール ルーティング機能の使用

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[初期テスト](#)

[最終テスト](#)

[トラブルシューティング](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager ( CUCM ) の Native Emergency Call Routing 機能について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- CUCM 11.x 以降
  - 公安応答局 ( PSAP ) に登録されているダイヤルイン方式 ( DID ) 番号プールの要件
- 緊急口ケーション識別番号 ( ELIN ) に対応した電話機 :

- SIP および SCCP IP Phone
- CTI ポート
- MGCP および SCCP アナログ電話
- H323 電話

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、CUCM 11.X 以降のバージョンに基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

**注意：** Cisco Emergency Responder などの外部の緊急コール ソリューションを既に使用している場合は、この機能を有効にしないでください。この機能を有効にする場合は、外部の緊急コール ソリューションを無効にする必要があります。また、PSAP に登録する DID 番号のプールが必要です。

## 背景説明

正確なロケーション情報を必要とするが、識別する必要があるロケーションの数が少ないかまたはサイトが 1 つだけである顧客の場合、CUCM Native Emergency Call Routing 機能を使用できません。Native Emergency Call Routing 機能では、管理者がデバイス プール レベルまたはデバイス レベルで ELIN を定義できるため、PSAP でデバイスのロケーションを判別および特定できます。

緊急コールの発信時には次の処理が必要です。

- 発信者のロケーションに基づいて現地の PSAP にコールをルーティングする必要があります。
- 発信者のロケーション情報が緊急オペレータ端末に表示される必要があります。この情報は Automatic Location Information ( ALI ) データベースから取得できます。

発信者のロケーションが ELIN により判別されます。ELIN とは、緊急コールが切断された場合、または PSAP が発信者と再度話す必要がある場合に、PSAP が緊急コールの発信者に再度連絡を取るためにダイヤルできる DID 番号です。緊急コールは、この番号に関連付けられたロケーション情報に基づいて PSAP にルーティングされます。


## 設定

### ステップ 1：


Cisco Unified CM Administration で [Call Routing] > [Emergency Call Handler] > [Emergency Location Configuration] を選択します。

緊急コール ハンドラ機能を有効にするには、次の図に示すように [Emergency Location Configuration] ウィンドウで [ELIN Support] チェックボックスをオンにします。これはデフォルトでは無効に設定されています。

## Emergency Location Configuration

 Save

**Status**

 Status: Ready


**Emergency Location**

This enables the basic Emergency Location capability built-in to Communications Manager.  
Do not enable this feature if using an external emergency calling solution, such as Cisco Emergency Responder.

Enable Emergency Location (ELIN) Support  
\*Unchecking will delete all related settings below

**Related Settings**

[Configure Route Patterns to enable the Emergency Location Services](#)  
[Configure Translation Patterns to enable the Emergency Location Services](#)  
[1 Emergency Location \(ELIN\) Group is configured](#)  
[Configure Device Pools to use an Emergency Location \(ELIN\) Group](#)  
[Configure Devices to use an Emergency Location \(ELIN\) Group](#)


 Save

### ステップ 2 :


次の図に示すように、ELIN グループと ELIN 番号を設定します。異なるロケーションを指定する複数のグループを作成できます。番号は、PSAP に登録されている DID 番号のプールに含まれている番号にしてください。緊急コール ハンドラの ELIN グループによりロケーションが特定されます。この ELIN グループに分類された ELIN は、Automatic Location Information ( ALI ) データベース内で該当するロケーションにマッピングされている必要があります。

各位置は同時非常呼出をサポートするために必要として作成される ELINs があるはずです。たとえば、5 件の同時緊急コールをサポートするには、ELIN グループに 5 つの ELIN を作成する必要があります。


## Emergency Location (ELIN) Group Configuration

 Save

**Status**

 Status: Ready

**Emergency Location (ELIN) Group Configuration**


Name\*  


Description

**ELIN Number Configuration**

These are a pool of DID numbers registered in the Public Safety Answering Point (PSAP) database that identify the location of the caller and can be used for an emergency you contact your local PSAP provider to register the number used and location details for this ELIN Group.

Number*	Partition
<input type="text" value="8888888888"/>	<input type="text" value=" &lt; None &gt;"/>



 Save

注: 非常呼出ハンドラは最大クラスタごとに 100 ELINs をサポートします。

### ステップ 3 :

緊急時にコールをルーティングするようにルート パターン ( RP ) を設定します。 次の図に示すように、 [Is an Emergency Services Number (used by Emergency Call Handler)] ボックスをオンにします。

The screenshot shows the 'Route Pattern Configuration' interface. The 'Status' section indicates 'Status: Ready'. The 'Pattern Definition' section contains the following fields and values:

- Route Pattern\*: 911
- Route Partition: < None >
- Description: (empty)
- Numbering Plan: -- Not Selected --
- Route Filter: < None >
- MLPP Precedence\*: Default
- Apply Call Blocking Percentage
- Resource Priority Namespace Network Domain: < None >
- Route Class\*: Default
- Gateway/Route List\*: -- Not Selected -- (with an [\(Edit\)](#) link)
- Route Option:  Route this pattern,  Block this pattern (No Error)
- Call Classification\*: OffNet
- External Call Control Profile: < None >
- Allow Device Override,  Provide Outside Dial Tone,  Allow Overlap Sending,  Urgent Priority
- Require Forced Authorization Code
- Authorization Level\*: 0
- Require Client Matter Code
- Is an Emergency Services Number (used by Emergency Call Handler) (highlighted with a red arrow)

トランスレーション パターン設定の要件が発生した場合は、TP 設定で上記のパラメータを確認します。

#### ステップ 4

次の図に示すように、 [Device Configuration/Device Pool Configuration] で ELIN グループを割り当てます。

デバイスの場合 :

The screenshot shows the 'Device Configuration/Device Pool Configuration' interface. The 'Emergency Location (ELIN) Group' field is highlighted with a red box and contains the value 'Bangalore'. Other visible fields include:

- Always Use Prime Line: Default
- Always Use Prime Line for Voice Message\*: Default
- Geolocation: < None >
- Retry Video Call as Audio
- Ignore Presentation Indicators (internal calls only)

デバイス プールの場合 :

## Device Pool Configuration



Device Pool Settings	
Device Pool Name*	Bangalore
Cisco Unified Communications Manager Group*	Default
Calling Search Space for Auto-registration	< None >
Adjunct CSS	< None >
Reverted Call Focus Priority	Default
Intercompany Media Services Enrolled Group	< None >

Roaming Sensitive Settings	
Date/Time Group*	CMLocal
Region*	g711
Media Resource Group List	< None >
Location	< None >
Network Locale	< None >
SRST Reference*	Disable
Connection Monitor Duration***	
Single Button Barge*	Default
Join Across Lines*	Default
Physical Location	< None >
Device Mobility Group	< None >
Wireless LAN Profile Group	< None >
Emergency Location(ELIN) Group	Bangalore

## 確認

ここでは、設定が正常に動作していることを確認します。

## 初期テスト

コールを適切な PSAP/サービス プロバイダーにルーティングするルート パターン 911 を CUCM で設定しました。このルート パターンでは、[Called Party Transformations] > [Called Party] を、コールを転送する別の番号に設定できます。これにより、多くの場合にコールが PSAP に接続することが防止されます。テストが完了したら、[Called Party Transform Mask] の番号を削除してください。

## 最終テスト

CUCM の設定が完了したら、各サイトが正しい PSAP を受け取り、PSAP に正しい情報を表示することを確認するため、すべてのサイトをテストします。このテストは単純です。911 をダイヤルして以下のような台詞を言います。

新しい緊急の応答のソリューションをテストします。表示されているコールバック番号と住所、また、所属する救援隊がどのエリアまたは都市にリストされているかを教えてください。これらの質問に対する PSAP の回答を基に、必要に応じて設定を調整します。必ず、複数回呼び

出す予定であるかどうか、テストが完了したかどうかを PSAP に知らせてください。そうすることにより、PSAP が常に状況を把握して、他の 911 コールのために救援隊をディスパッチするべきかどうかを判断できます。

このテストは、CUCM の設定が完了したと確信を持てる場合に行ってください。PSAP の任務は多忙を極め、たとえ、テストへの協力を惜しまないとしても、彼らが第一に優先しているのは、実際の緊急コールに対応することです。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。